

# 2023年2月期（FY2023） 第3四半期 決算説明資料

2023年1月12日  
ローツェ株式会社

証券コード：6323  
<https://www.rorze.com/ir>

# 注意事項

## ◆ 将来見通しに関する記述について

本資料に記載されている業績予想、将来予測などは、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証したり、約束したりするものではありません。  
また、経済動向や業界における競争、市場、諸制度等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、今後予告なく変更されることがあります。

## ◆ 本資料における表示方法について

数 値： 単位未満を切り捨て

比 率： 1円単位の金額で計算後、単位未満四捨五入

会計期間： 連結・当社、国内および海外子会社の会計期間は次のとおり

	Q1 (第1四半期)	Q2 (第2四半期)	Q3 (第3四半期)	Q4 (第4四半期)	通 期
連結・当社・国内子会社	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～翌年2月	3月～翌年2月
海外子会社	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～12月

## ◆ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等の適用について

第1四半期連結会計期間より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローに関する説明における前年同期及び前連結会計年度末との比較は、当該会計基準等を適用する前の前連結会計年度の連結業績を基礎に算定しております。

# 会社概要

商号	ローツェ株式会社（英文名：RORZE CORPORATION）
所在地	広島県福山市神辺町道上1588番地の2
設立	1985年3月30日
資本金	982百万円
事業内容	半導体・フラットパネルディスプレイ（FPD） ライフサイエンス関連の自動化・搬送装置の開発・製造・販売
上場市場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6323）
従業員数	連結 4,342名（2022年11月末現在） 単体 229名
事業拠点	国内：福山（本社）・横浜・熊本・つくば 海外：米国・ベトナム・台湾・韓国・シンガポール・中国・ドイツ

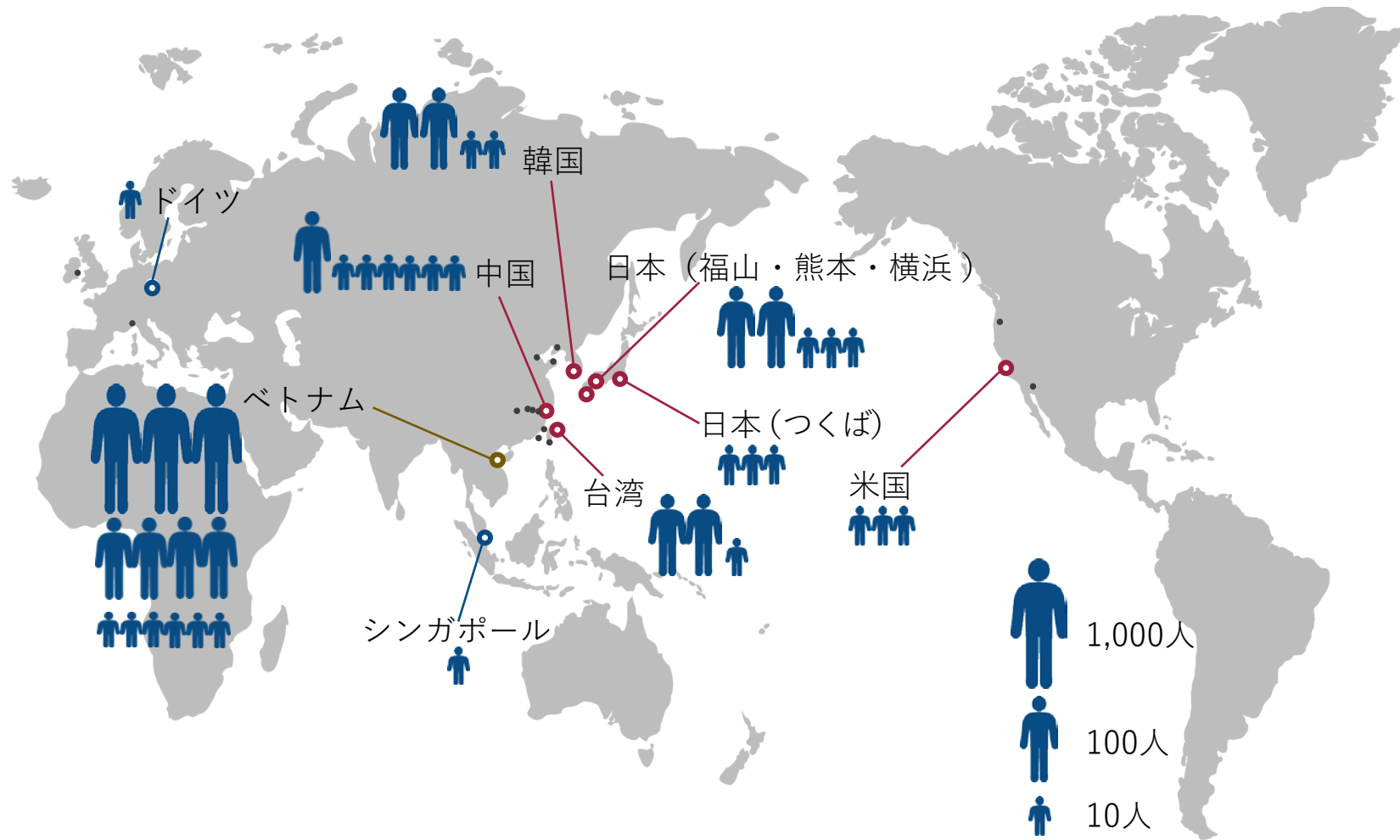


会社案内ダウンロード

[https://www.rorze.com/files/jp/company\\_profile.pdf](https://www.rorze.com/files/jp/company_profile.pdf)



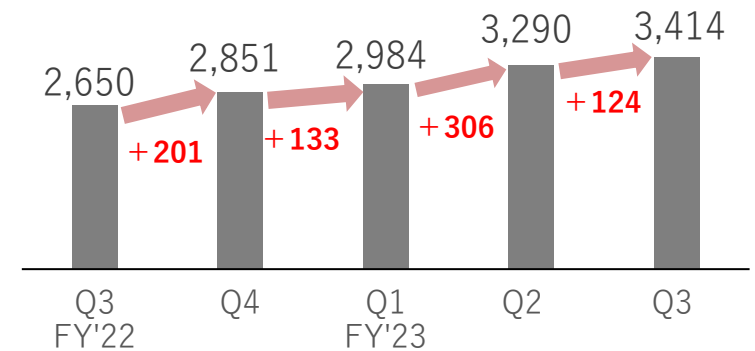
# グローバルネットワーク



グループ従業員数 4,342名  
(2022年11月末現在)

## RORZE ROBOTECH (ベトナム)

### 従業員数



(注) Q1: 3月31日現在 Q2: 6月30日現在  
Q3: 9月30日現在 Q4: 12月31日現在

- Red circle: 開発・生産・営業・サポート
- Blue circle: 営業・サポート
- Yellow circle: 開発・生産
- Black dot: サポート



2023年2月期（第38期）  
第3四半期（2022年3月～2022年11月）  
連結業績

# 2023年2月期 第3四半期決算ハイライト

## 増収増益

売上高

**71,382** 百万円

前年同期比 **+53%**

営業利益

**17,739** 百万円

前年同期比 **+65%**

経常利益

**26,652** 百万円

前年同期比 **+123%**

当期純利益

**19,666** 百万円

前年同期比 **+126%**

# 2023年2月期 第3四半期決算ハイライト

---

- ◆ 半導体関連装置の売上増加と円安により増収増益
  - ・ 主力搬送装置の販売拡大と円安による増収
  - ・ 営業利益は売上増加により65%増益
  - ・ 経常利益は円安による為替差益97億円を計上し大幅増益
- ◆ 半導体関連装置の受注残高は依然高水準、四半期受注高は減少

# 2023年2月期 第3四半期連結業績

(百万円)

科 目	Q3 FY'23	Q3 FY'22	前年同期比 (%)	FY'23 通期計画	進捗率 (%)
売上高	71,382	46,591	153.2	96,466	74.0
半導体関連装置	61,320	39,774	154.2	84,264	72.8
F P D 関連装置	5,425	2,812	192.9	5,799	93.5
ライフサイエンス関連装置	248	395	62.9	1,123	22.1
モータ制御機器	114	83	136.1	123	92.7
部品修理 他	4,273	3,525	121.2	5,156	82.9
営業利益	17,739	10,774	164.6	23,225	76.4
経常利益	26,652	11,965	222.7	30,805	86.5
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	19,666	8,715	225.7	22,793	86.3
為替レート（円/USD）	144	111	—	144	—

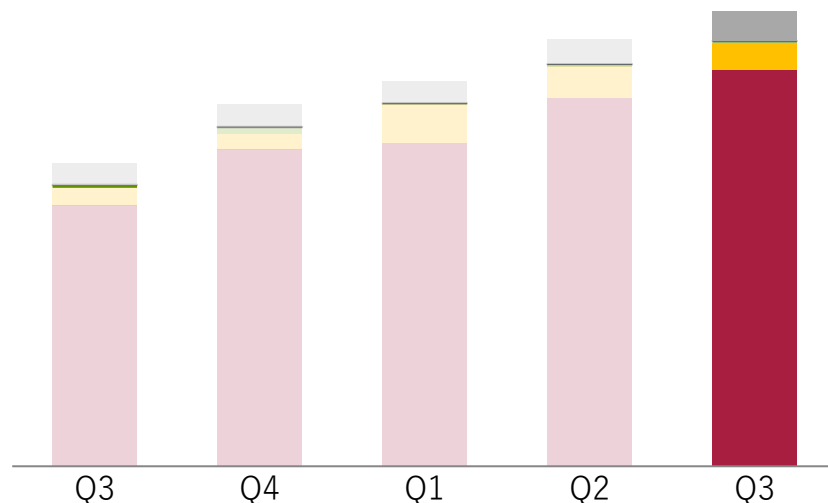
※ 第1四半期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）を適用



# 2023年2月期 第3四半期連結売上高

連結四半期別売上高の推移（品目別）

（百万円）



■ 部品・修理 他

■ モータ制御機器

■ ライフサイエンス関連装置

■ FPD関連装置

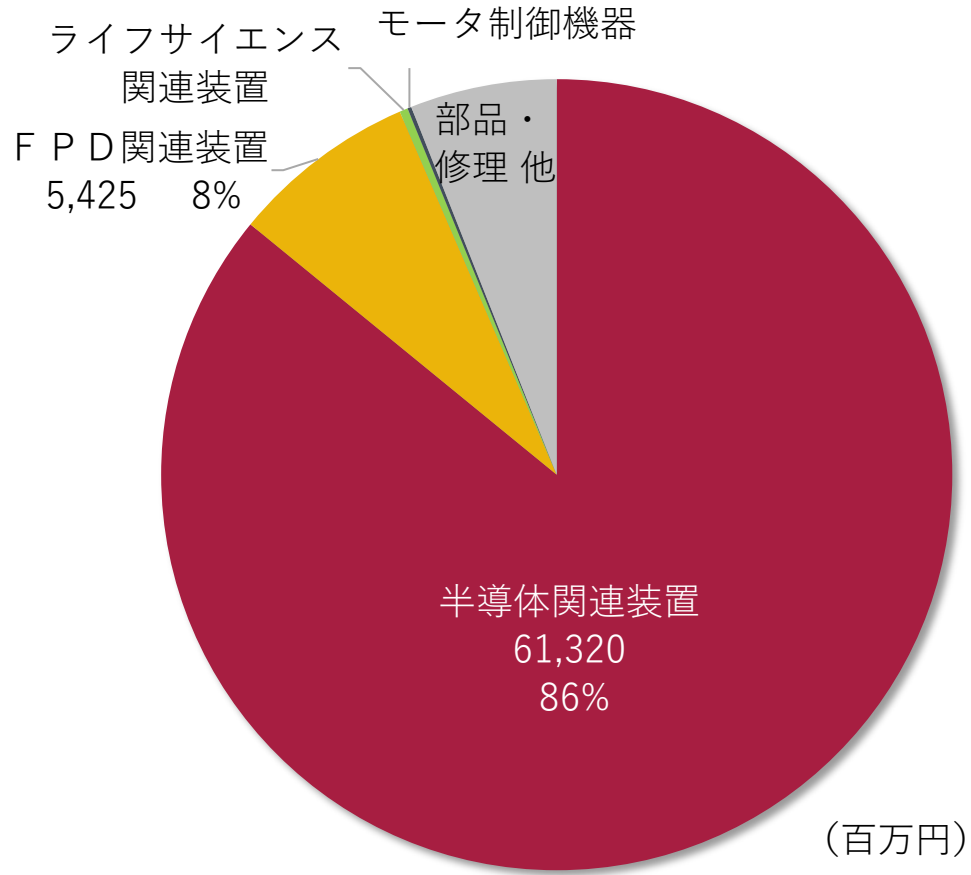
■ 半導体関連装置

- 半導体関連装置の主力搬送装置販売が好調に推移  
主力搬送装置は
  - ・ 中国、米国など主要装置メーカー向けEFEM
  - ・ 台湾ファウンドリ向けウエハソータ
  - ・ メモリメーカー向けN2パージウエハストッカ
- FPD関連装置は売上の進捗率が高い
- ライフサイエンス関連装置はQ4納入案件が多い

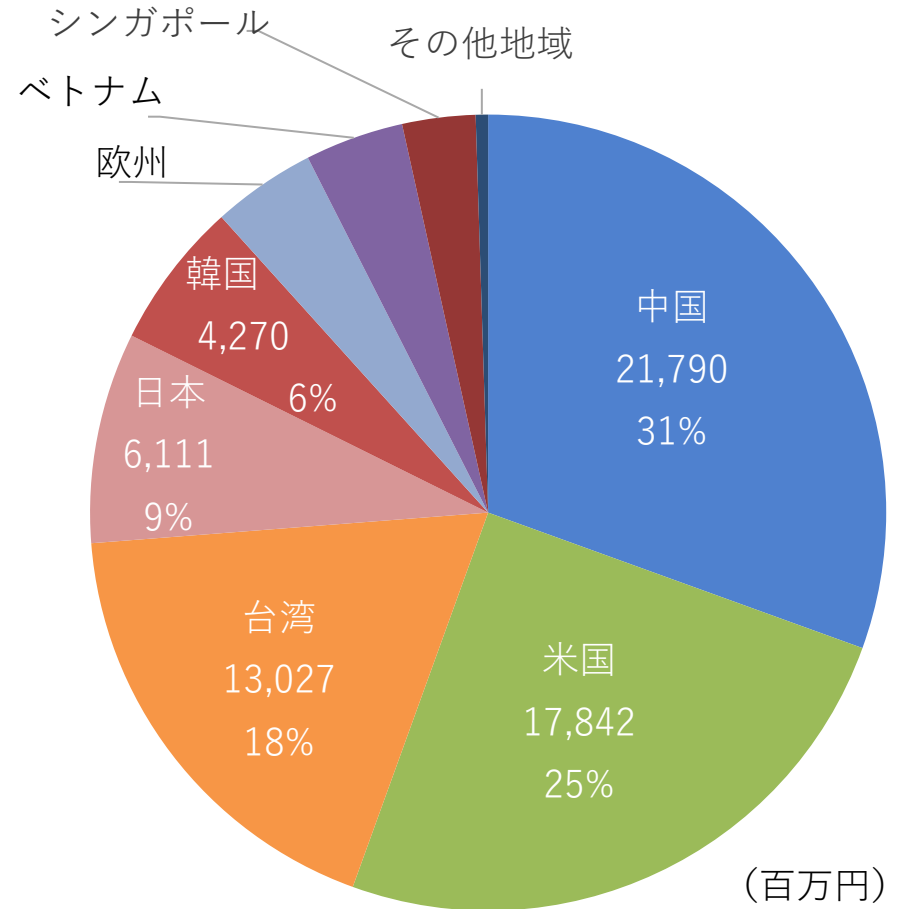
※ 第1四半期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）を適用

# 品目別・地域別売上高

## 品目別



## 地域別

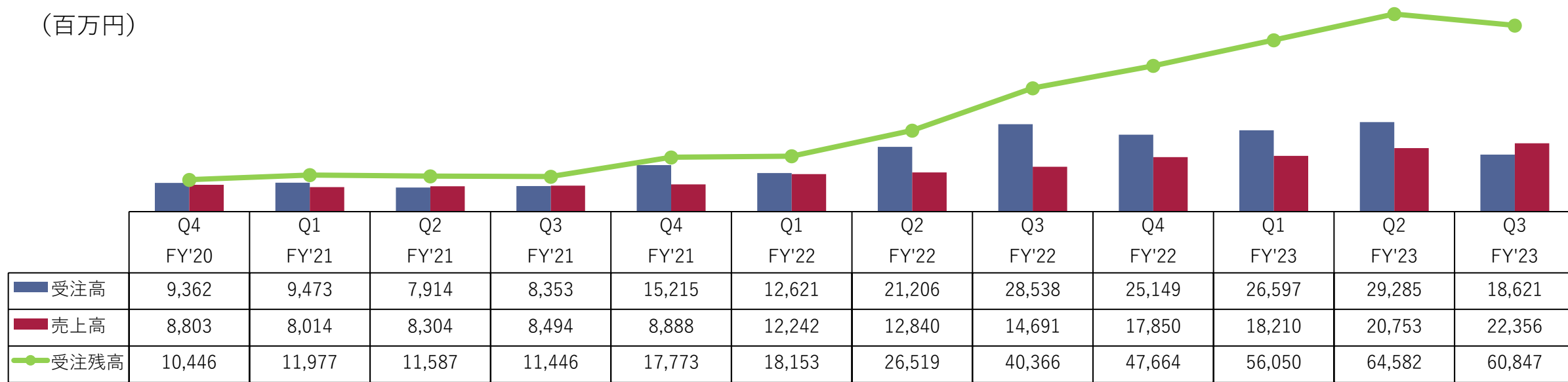


# 受注高・売上高・受注残高の推移

## ◆ 半導体関連装置

- 増産による出荷進捗により受注を消化するも、受注残高は608億円と高水準
- 新規受注は長納期先行発注が一段落、メモリ分野での投資足踏みが影響

(百万円)

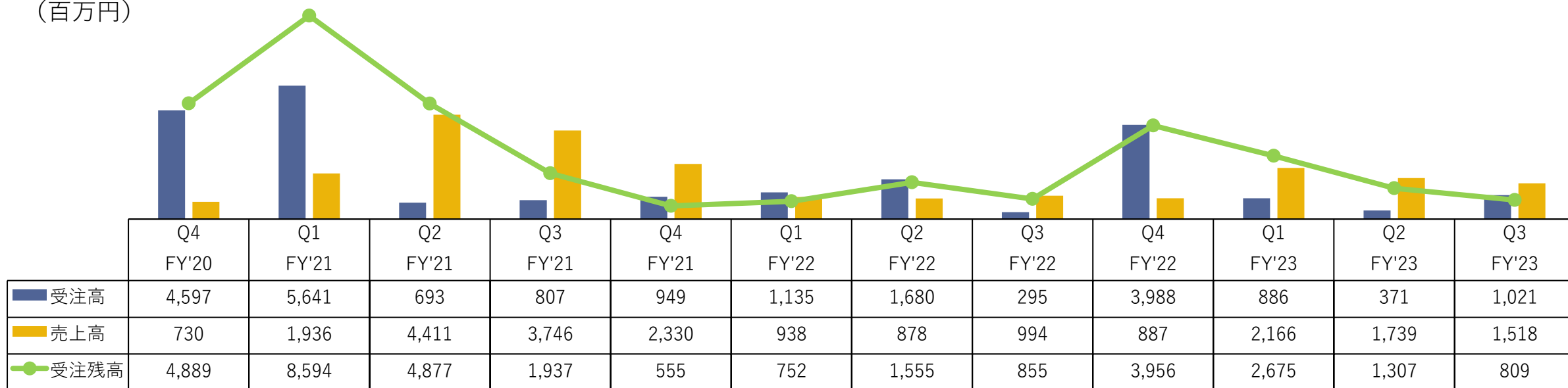


# 受注高・売上高・受注残高の推移

## ◆ FPD関連装置

- 主要顧客のベトナム向け自動化装置導入が進捗する一方、新規大口受注はなく受注残高は減少

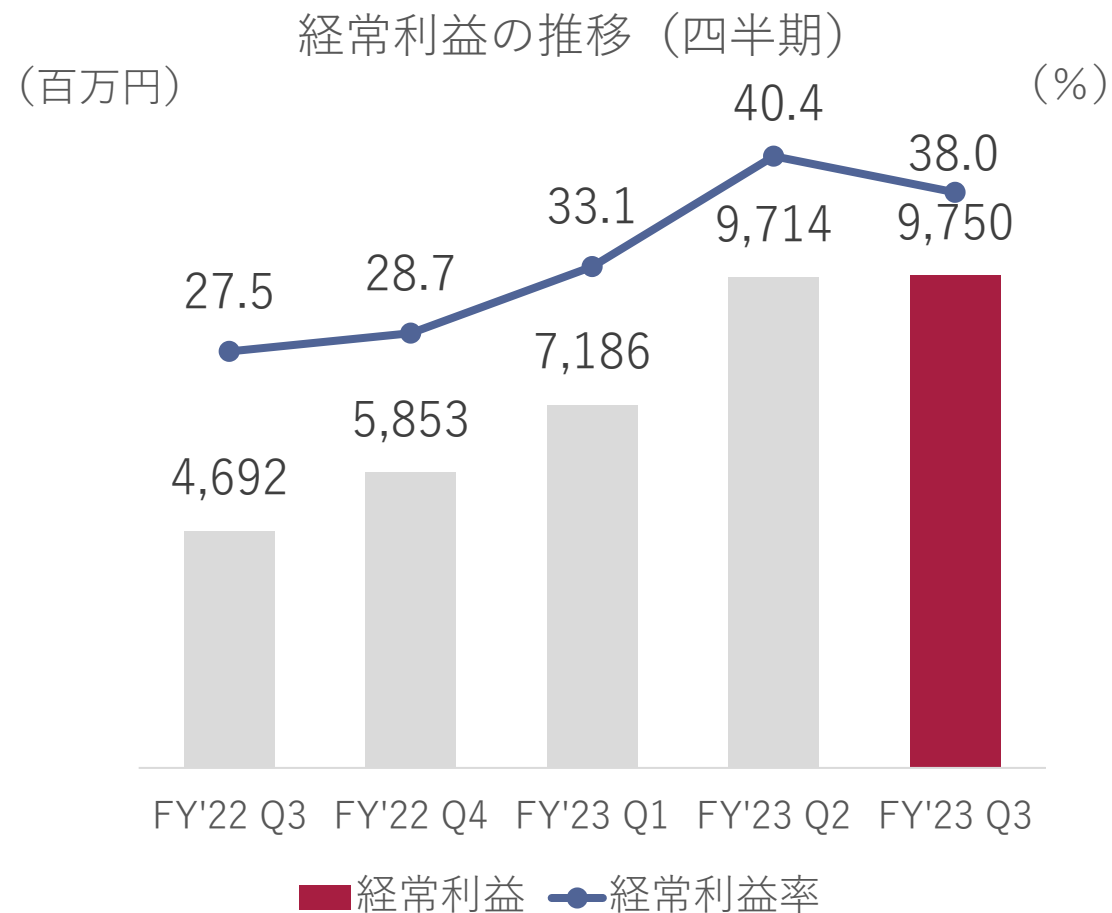
(百万円)



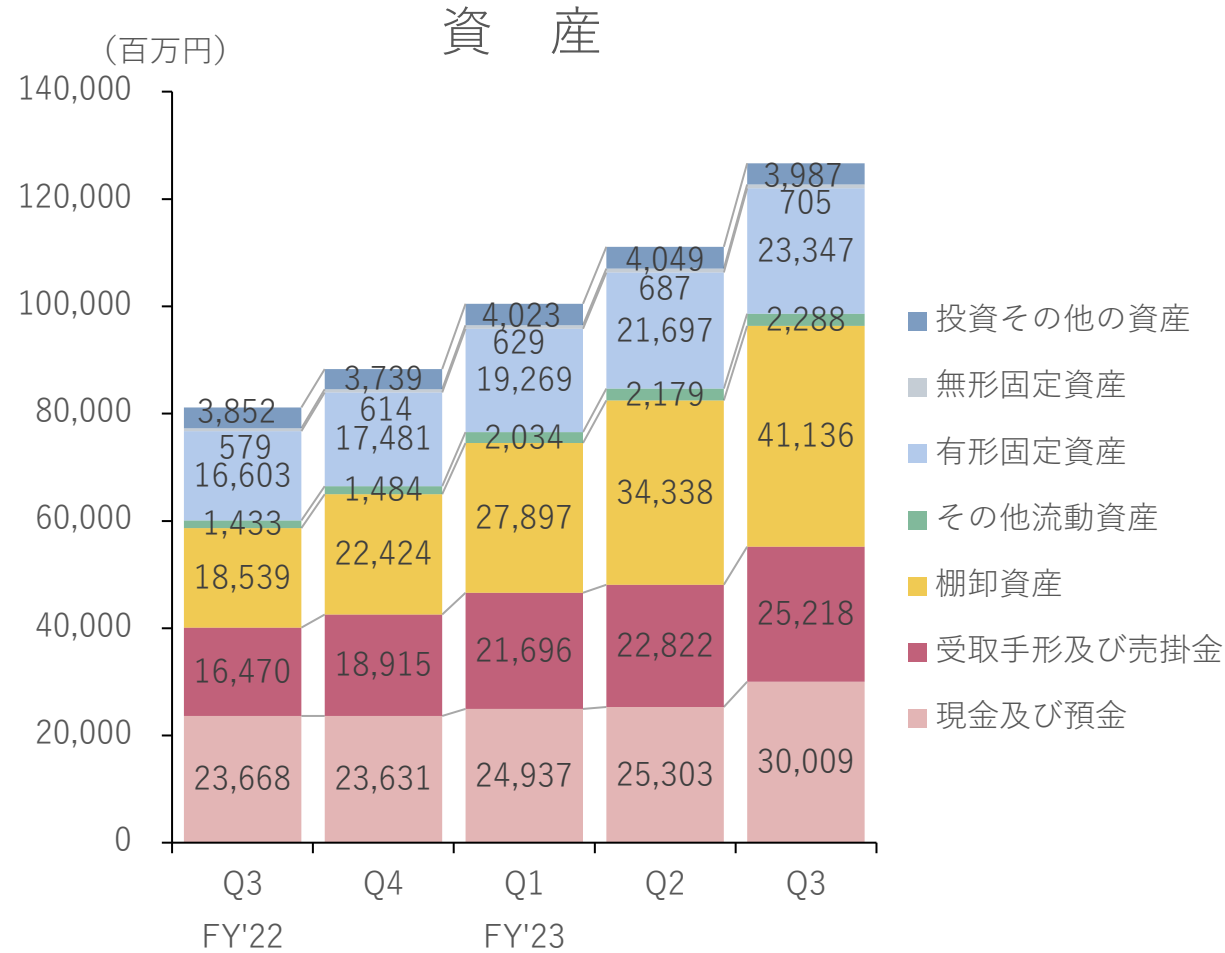
# 損益状況

## ◆ 経常利益266億円 (前年同期比123%増)

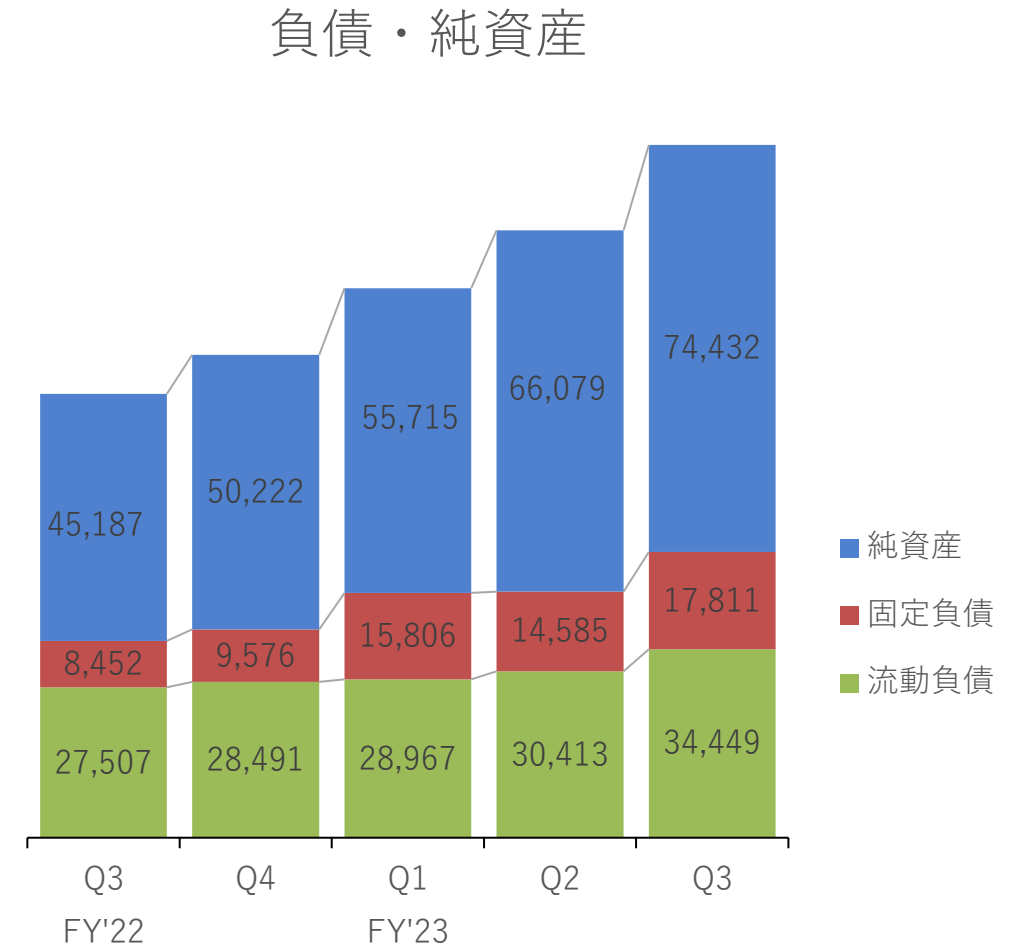
- 営業利益は円安進行による原価増要因を上回るコストダウンにより利益率改善
- 経常利益は為替差益急増の前四半期と並ぶ水準
- 為替差益は累計97億円



# 連結貸借対照表



● 棚卸資産の増加 +18,712百万円



● 有利子負債の増加 +10,617百万円



# 2023年2月期（第38期） 今後の見通し

# 2023年2月期 今後の見通し

## 【事業環境】

- スマートフォン、パソコンの直近の需要減少やデータセンター、車載用等の新たな半導体需要の拡大
- メモリ価格の下落に伴い足元の事業環境に不透明感広がる
- 経済安全保障の観点から半導体産業への大型補助金投入や新たな中国輸出規制強化などが交錯



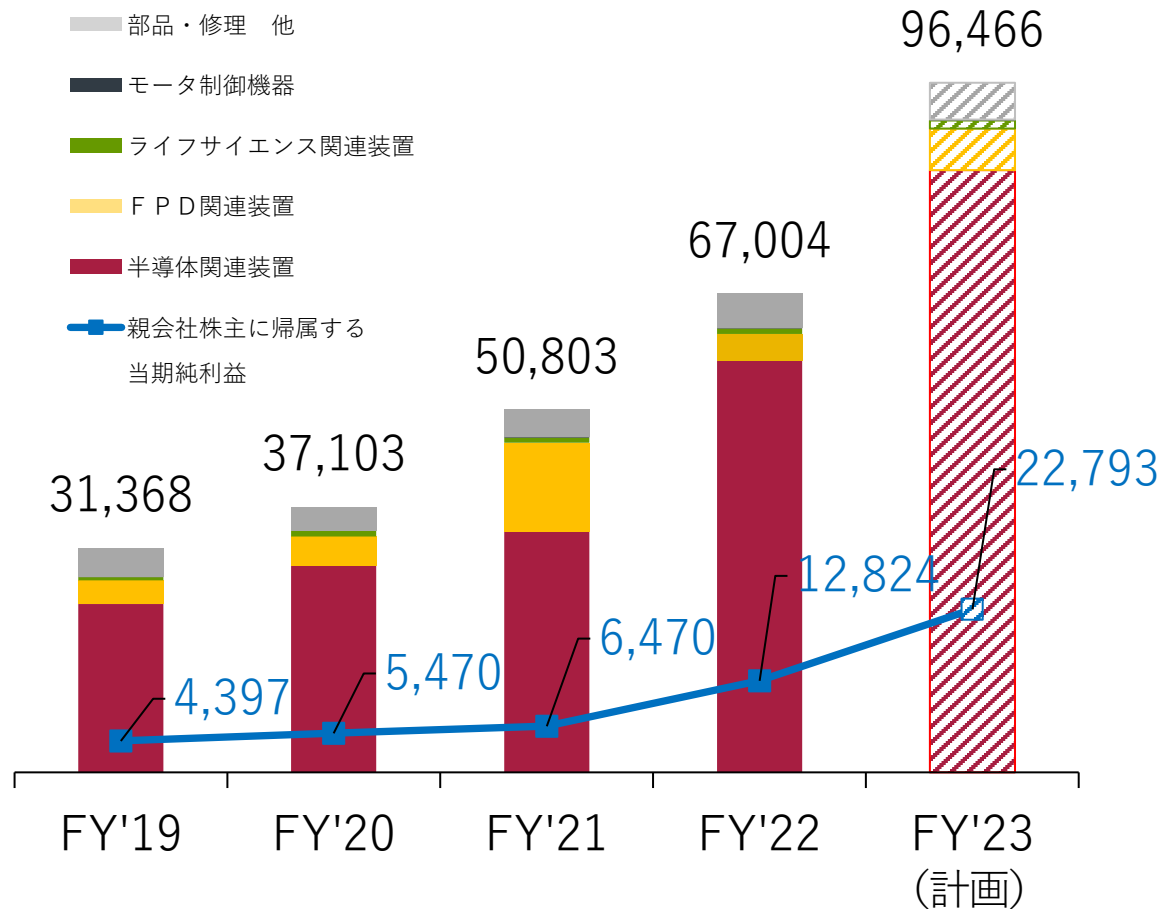
## 【今後の見通しと取組み】

- 中国、米国、台湾などの顧客受注に対応した半導体関連装置の生産体制強化、納入加速
- 出荷延期、フォーキャストの見直し等あるがベトナム工場の過密な生産状況に変化なし
- 部品納期は改善傾向だが、長納期部品は残る
- FPD関連装置は大口受注時期、規模等不透明
- ライフサイエンス関連装置は期末出荷予定



# 2023年2月期連結通期業績予想

(百万円)



- 通期連結業績予想に変更なし
- ベトナム、中国、日本など完成した工場での生産体制強化をはかり納期短縮に注力
- 今期期末配当を110円から135円に増配予定



トピックス

# 九州工場の新クリーンルームが完成



2Fクリーンルーム



九州工場 全景

- 九州工場 2Fクリーンルーム(約1,130㎡)が2022年12月完成
- 既存 1Fクリーンルーム(約1,070㎡)と併せて約2倍に
- 九州をはじめ国内半導体設備投資需要に対応

# 株式会社イアスの子会社化を発表

## 異物混入防止による半導体の歩留まり向上



ローツエ

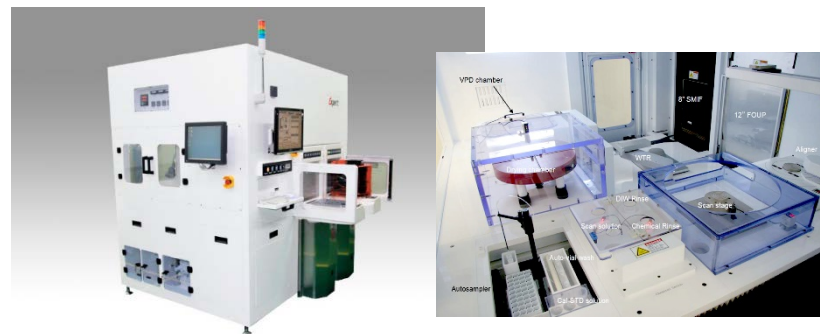
ウエハに付着するパーティクルゼロのクリーン搬送



クリーン搬送技術を用いた  
搬送装置・ロボット

イアス

微量金属不純物分析の自動化・分析ノウハウ



気相分解法による自動検査装置  
ウエハ上の金属元素を回収・検査



子会社化：2023年3月1日（予定）

# 株式会社イアス 会社概要

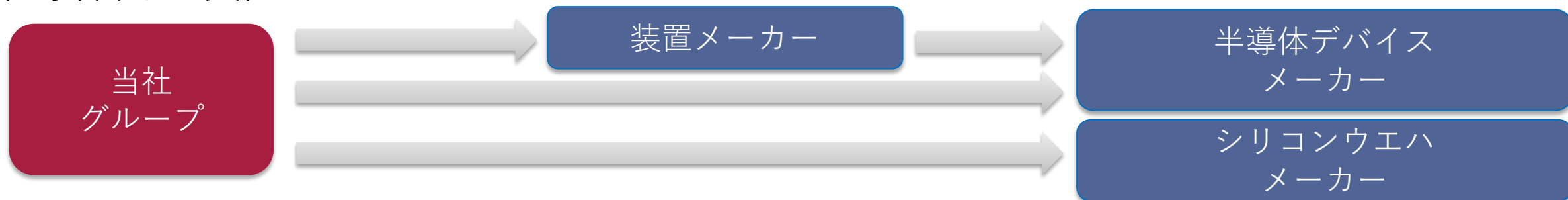
商 号	株式会社イアス (英文名: IAS Inc.)
所 在 地	東京都日野市本町二丁目2番1号
代 表 者	代表取締役 川端 克彦
設 立	2004年12月9日
資 本 金	90百万円
事 業 内 容	ICP -MS 等の 部品・周辺機器および金属分析前処理装置の製造・販売
売 上 高	2,889百万円 (2021年11月期)
従 業 員 数	42名 (2022年10月末現在)
U R L	<a href="https://iasinc.jp/">https://iasinc.jp/</a>



# 参 考 资 料

# 事業内容

## 半導体関連装置



## F P D 関連装置（液晶、有機EL）



## ライフサイエンス関連装置（創薬、再生医療）





# 半導体関連装置（半導体）

## 装置メーカー向け

大気用  
搬送ロボット



アライナ



N2対応  
シャッターロードポート



EFEM



真空プラットフォーム

## エンドユーザ向け



ウエハソータ



N2パージウエハストックカ



アクティブロードポート(ALP)



# FPD関連装置（液晶、有機EL）

液晶、有機ELの製造工程で使用されるガラス基板をクリーン搬送する装置、切断する装置を開発・製造・販売



ガラス基板搬送システム



Laser Glass Cutting Machine  
(レーザ式ガラス基板切断装置)

# ライフサイエンス関連装置（創薬・再生医療）



メカトロCO<sub>2</sub>インキュベータ  
SCALE120



自動培地交換機能搭載  
細胞培養装置  
CellKeeper120



観察機能付き培地交換装置  
CellKeeper48Plus



全自動培地交換システム  
CellFarm Light



細胞観察装置  
CellShot



スケジューリングソフトウェア  
Green Button Go™ ※  
(※Biosero社製)

ありがとうございました

---

